

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2023No.323】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：交響曲第 40 番ト短調 K. 550

演奏：リッカルド・ミナージ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55029>

2023 年 10 月 29 日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ミナージ指揮によるモーツァルトの夕べ

指揮者リッカルド・ミナージがベルリン・フィルデビューを飾ります。彼のモーツァルト後期交響曲の録音は、ドイツの公共放送局ドイチュラントフンクにより、「今世紀において最も刺激的なモーツァルト解釈の一つ」と評されました。デビュー公演に選ばれたのはモーツァルトの優美な《ハフナー》交響曲と交響曲第 40 番、彼の解釈によりこれらの作品を未だかつてないほど劇的に体験できるでしょう。上演稀少な「2つのヴァイオリンのためのコンチェルトーネ」では、独奏パートをベルリンフィルの 2 人の首席奏者が担います。

以上の他に下記が演奏されました。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

《コジ・ファン・トゥッテ》序曲 K. 588

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

交響曲第 35 番ニ長調 K. 385 《ハフナー》

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

2 台のヴァイオリンのためのコンチェルトーネ K. 190

ノア・ベンディックス＝バルグリー(ヴァイオリン)

トーマス・ティム(ヴァイオリン)

ミナージのベルリン・フィルデビューの演奏で、ミナージのきびきびした切れの良い指揮で、お馴染みのオールモーツアルトのプログラムの演奏が進行します。

《コジ・ファン・トゥッテ》序曲は、これからオペラが始まるというワクワク感を抱かせます。

交響曲第 35 番はいきおいのある演奏です。

2 台のヴァイオリンのためのコンチェルトーネは、オーボエ首席奏者のアルブレヒト・マイヤーも加わって、3 人のソリストによる協奏曲のようです。

交響曲第 40 番は、ミナージのきびきびした切れの良い指揮で軽快な演奏です。

スイッチングハブから PC までの LAN ケーブルに LAN アクティライザーを装着したことにより、ヴァイオリンやオーボエの質感が向上し、コントラバスの明瞭さが際立ち、オーケストラの表現力がぐんと迫力を増しています。



以上